



経営者・人事責任者セミナー

「報連相しろ」のその先へ —伝える技術から「意味をそろえる」組織へ—



講師 (株)アクティブアンドカンパニー
コンサルティング部

三上 真央

略歴

大学在籍時に大学のLGBTQAサークルの代表を務め、その縁で、大学の「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の策定に関わる。大学在籍時から、「居心地の良い組織」や「集合知を集めるための共創プラットフォーム」をテーマに、人文社会科学の領域から、フィールドワークを通して、仏教寺院のコミュニティや技術系のユーザー参加型コミュニティの研究を行っている。著書に『クィアの民俗学』、『生きづらさの民俗学』がある。

開催日程

11月17日 火

- ◆ WEB会議アプリ「Zoom」を使用
- ◆ 対象者
人事部門責任者・人事企画ご担当者
研修企画ご担当者

セミナーのポイント

1. 「至急」「問題ない」等、同じ言葉でも解釈が異なる事例から報連相のズレを考える。
2. 「どう動くか」まで共有された意味のマネジメントとして捉え直す。
3. 事前の認識合わせなど、個人の「気の利いた報連相」を組織的な戦略へ変える。
4. 意味がズレやすい言葉を起点に、共通する判断基準をつくる。

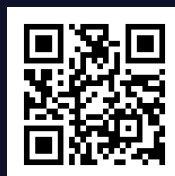
セミナー概要

去年は、感覚任せの報連相をやめ、判断基準をすり合わせる方法を考えました。今年はその先へ。報連相を「伝える技術」から、組織内で認識・判断・行動をそろえる「共通言語」へと捉え直し、組織として意味を共有する仕組みを考えます。

参加方法

参加費無料

限定 100 名



お申込みはこちら <https://www.aand.co.jp/event/>



「報連相をしているのに、なぜ組織の判断はそろわないのか？」

- ✓ 報連相の仕方が人によって異なり、伝える内容やタイミングにばらつきがある
- ✓ 報告や連絡はできていても、受け手との認識のズレから判断や対応が食い違ってしまう
- ✓ 判断基準が共有されておらず、同じような状況でも人によって対応が異なる
- ✓ 報連相を単なる情報伝達で終わらせず、組織全体で認識・判断・行動をそろえる仕組みをつくりたい

開催概要

対象者 人事部門責任者、ご担当者様

開催日程 2026年11月17日（火）
WEB会議室への入室開始：13:50 / 開始 14:00 ～ 終了 15:30（予定）

開催方法 WEBアプリ Zoom を使用（ブラウザ環境・アプリダウンロードともに無料です）
※接続方法や視聴用URLはお申し込み後、開催日の前日にご連絡させていただきます。

定員 100名様

参加費 無料

申込方法 2026年11月16日（月）までに、WEBにてお申し込み下さい。
期日 ※但し、定員に達した場合には、その時点で申し込み締め切りとさせていただきますので、予めご了承下さい。

注意事項 **WEBセミナー**のため、会場へご来場いただく必要はございません。
1社につき2名様までのお申し込みとさせていただきます。
弊社判断により競合サービス取り扱い企業様のご参加をお断りさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

お申し込みから受講までのSTEP

- STEP 1** WEBもしくはメールにて参加希望するセミナーにお申し込み
お申し込み完了後、ご入力いただいたメールアドレスへお申し込み完了メールが届きます
- STEP 2** ブラウザ環境またはZoomアプリをダウンロード（<https://zoom.us/download>）
アプリをダウンロードしなくても、ブラウザ環境でもセミナーを視聴することができます 
- STEP 3** セミナー開催前日に、接続方法やWEB会議URLをメールにてご案内
接続方法や動作確認、セミナー視聴に向けての準備や注意事項についてご連絡いたします
- STEP 4** セミナーのアクセス開始時刻になりましたら、WEB会議URLからZoomを起動
前日にお送りしたURLを押下し、ログインしてください ※インストール済みであれば、URL押下後、自動起動します
- STEP 5** Zoom起動後、氏名をフルネームで入力し、ミーティングに参加
セミナー入室の際はオーディオ参加、ビデオOFF・ミュートをお願いいたします